

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	まちなかインフォメーションセンター管理事業	会計	一般会計	事業No.	482	施策順No.	13-012
		事業種別	政策・その他	予算科目	7-1-4-10-12		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	観光課		
施策	13 地域内産業の多様な連携			事業期間	開始	18	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	飯田下伊那地域を訪れる観光客 まちなかを訪れる目的を持った観光客							A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		飯田下伊那地域を訪れる観光客数(千人)	4300	4300	4500	4500	4600		
	意図	タイムリーな観光情報を提供することで、滞留する観光客数を増加させる							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度	
	まちなかインフォメーションセンターから情報提供をした件数(件)	11653	10136	15463	17000	14654	15000	B	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	21年度は飯田お練りまつり効果で情報提供が大幅増となったが、19・20年度と比較してみれば約125%の増加である。目標設定にこそ誤りはあったもののどちらかと言えば達成できたと考えられる。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	市内を中心とした観光案内の拠点としてのまちなかインフォメーションセンターを管理運営する。併せて、観光課事務所としての機能を兼ね備える。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 まちなかインフォメーションセンターの管理運営 (1)観光案内業務 (2)休日観光案内業務委託 (3)センター設置義務的経費 ア 光熱水費、事務所使用料ほか イ 通信運搬、事務機器使用、消耗品等業務経費 ウ 夜間警備業務委託 2 大型バス駐車場管理運営	1 開館日数 (1)利用客数 (2)運営委託日数 (3)義務的経費 2 利用台数	1 360日 (1) 12,014人 (2) 117日 (3) 1式 2 851台
23年度実施計画	1 まちなかインフォメーションセンターの管理運営 (1)観光案内業務 (2)休日観光案内業務委託 (3)センター設置義務的経費 ア 光熱水費、事務所使用料ほか イ 通信運搬、事務機器使用、消耗品等業務経費 ウ 夜間警備業務委託 2 大型バス駐車場管理運営	1 開館日数 (1)利用客数 (2)運営委託日数 (3)義務的経費 2 利用台数	1 360日 (1) 12,000人 (2) 116日 (3) 1式 2 900台

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		9,196	9,083	8,747		
計(A)		9,196	9,083	8,747		
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			0			
トータルコスト A+B			9,083			

4 事業に対する市民や議会の意見

中心市街地はりんご並木イベントなどを中心に新たな活用や食文化の情報発信拠点となりつつある。りんご並木そのものの魅力を活用したまち歩き企画を進めるほか、人気イベントの活用、食文化を活用した観光誘客を推進することが期待されている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	地域内産業が、多様な連携により新たな経済活動を創出する。	施策の成果指標又はムツ指標	観光消費額(億円) 地域経済自立度(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのような貢献しましたか	4年間の振り返り	・まちなかインフォメーションセンターからの情報提供数が増加することで、誘客数も比例して増加してきている。観光案内所としての確かな情報提供を行なうことで誘客につなげてきた。		
	後期に向けた課題	・観光誘客の一つのポイントは観光案内所からの的確な情報提供である。常に情報を収集するとともに魅力ある情報発信・情報提供を行なっていく。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	・まちなかインフォメーションセンターの機能充実と窓口職員を始めとした職員のおもてなしの精神向上に努めてきた。そのことによりインフォメーションセンターを訪れる観光客も増加してきている。		
	後期に向けた課題	・的確な情報収集と情報発信の充実。 ・おもてなし精神向上のための人材育成。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	・施設運営のための義務的経費が中心であるが、環境方針に沿った施設運営に心がけた。		
	後期に向けた課題	・22年度に飯田駅観光案内所がオープンしまちなかを始めとした観光案内業務が充実してきた。事務所経費を考えた場合、中心市街地に観光案内所が2か所必要なのか役割分担を含めた検証を行なう。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・飯田市の観光振興を発展させる上で適切であった。		
	後期に向けた課題	・特になし		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	①土日祝日の観光案内業務を南信州観光公社へ委託することで、専門性の高い観光案内が行なわれてきた。 ②行政は観光案内のための情報収集・情報発信に努めてきた。		
	後期に向けた課題	・観光誘客のための情報発信力の強化が必要である。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・まちなかインフォメーションセンターとしての機能を充実してきたことで利用者数も増加している。		
	後期に向けた課題	・飯田駅観光案内所との役割分担を明確にする必要がある。その中で観光課事務所機能がまちなかインフォメーションセンターに果たして必要なのか検証する。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--